

市議会議員 鮎川由美 (真政会)

## 議会報告書 2015

<http://www.ayukawa-yumi.info/index.html>

発行 あゆかわ由美を育てる会

習志野市秋津 1-1-2-302

平成 27 年 12 月 13 日発行

### ご挨拶

日頃より、市民の皆様にはご支援を賜りありがとうございます。早いもので習志野市議会議員となり、半年が過ぎました。議員経験は少ないとは言え、私にできることを前向きに取り組ませていただいております。特に子育て支援、福祉、教育、地域問題を柱に、改善していただきたい内容、新たに取り組んでもらいたい内容等を議会の場で質問させていただいております。また、市民の負担、将来世代の負担増にならない施策を目指し、出来るだけ多くの市民に還元できる提言ができるようよう努めております。

お陰様で、第4回定例会（12月議会）では、市民の声を代弁し、3回目の一般質問をさせていただきました。

※裏面ご参照下さい。



### 第4回定例会（12月議会）よりの主なご報告

#### ○マイナンバーの件

習志野市は、平成27年10月5日のマイナンバー制度開始に伴い、マイナンバーをお知らせする「通知カード」が、住民票のある住所に簡易書留で送付されました。（163,782人）

現在、不在や転居等により、約1割近くの方の手元に届いていない報告。皆様は、届いておりますでしょうか？まだの方は、習志野市役所で保管しておりますので、問合せをして下さい。マイナンバーは、今後、社会保障や税、災害対策の手続きのために行政機関や勤務先などへ提示することになりますので、通知カードは大切に保管してください。

#### ○総務常任委員会

- ・習志野市行政不服審査法施行条例の制定について・・・協議中
- ・習志野市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について・・・協議中
- ・行政不服審議法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について・・・協議中
- ・習志野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例及び習志野市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について・・・協議中
- ・習志野市税条例の一部を改正する条例の制定について・・・協議中

#### ○一般会計予算特別委員会

議案第55号（11月28日付託）・・・12月1日、本会議可決。議案第56号・・・協議中。

#### <第4回定例会 鮎川由美の一般質問と回答>

1. Q、子育て支援の放課後児童会に係る、運営状況と今後の取組、支援員不足の解消と具体的な取組、受入れ拡大に伴う教室の確保策、谷津南小学校のバス通学に伴う対応状況について

A、職員不足の解消や受入児童拡大に伴う教室の確保など、国の支援施策を十分に活用し、引き続き課題改善に向け鋭意努力するとともに将来にわたり、放課後児童会の安定した運営が図れるよう努める。長期的に安定した放課後児童会の運営を考えた場合、民間委託や民間事業者の参入も視野に入れ、「習志野市子ども・子育て支援事業計画」において、児童受入れの確保方策と施設整備を進めていく。

2. Q、総合福祉センターに「さくらの家」・「いずみの家」の老朽化に対する今後の対応と「介護予防日常生活支援総合事業」への考え方について

A、29年度から総合事業を実施。多様なサービスの充実及び多様なサービスを住民主体で提供できる体制の構築の2点が骨子と。サービスを提供できる場、サービスを提供する住民やボランティア団体が活動できる場等の拠点となる場の確保が必要となってくる。福祉センターについては、再整備事業の構想を進めるにあたり、新たな福祉サービスに対応できるよう改修計画を策定していく。

Q、「さくらの家」での利用者数、お風呂と送迎用福祉バスに対する経費と維持管理費状況と老朽化への今後の対応について

A、「福祉バス」26年度 利用者 36,157人 経費・維持管理費合計 15,367,717円

◎今後、修理費などの維持管理費の増大が見込まれる

◎「習志野市第一次経営改革大綱」で30年度までに運用方法の見直しをする

◎乗車人数や乗車率などの利用状況を見極め検討

「浴場」26年度 利用者 30,417人 経費・維持管理費合計 13,052,839円

◎老朽化に伴い修繕費の増大が見込まれる

◎「総合福祉センター再整備事業 基本方針策定プロジェクト」の中で今後の在り方について検討していく

Q、総合福祉センター再整備事業を行うにあたり、障害者、高齢者、市民など、全ての方が気軽に集う場所としての「カフェ」や障害者用のグループホーム及びショートステイ施設の整備が必要と考えるがいかがか？

A、現在、総合福祉センターの老朽化対応の一環として再整備事業の検討を行っている。大規模修繕だけでなく既存機能の見直しや新たな機能の追加も検討している。市民が集える場所、障害者グループホームの誘致も考慮していく。

3. Q、地域問題、秋津地区における公共交通空白地区への対応と進捗状況について

A、前回同様、バス事業者からは、採算性の懸念と歩行者の安全確保、路面補修の必要性、周辺地域住民の同意など、検討課題が併せて提示された報告がなされた。

※今後の秋津地区全域・谷津干潟自然観察センターの発展のため、福祉バス予算を移行してでも、習志野市役所及び京成津田沼駅方面へのアクセス確保を強く要望しました。